



琉球新報社新本社ビル落成記念
おきなわ文化の祭典「大琉球浪漫」シリーズ第12弾
組踊上演300周年記念実行委員会共催事業

新作組踊

「世謡 (ゆうてー)」

ほす いと ～運糸の縁～

尚徳王とノロ・クニチャサの
真実の愛を描く



宮城 能鳳
(人間国宝)



城間 徳太郎
(人間国宝)



比嘉 聡
(人間国宝)

平成31年 3月19日(火) 午後6時開演 (午後5時30分開場)

琉球新報ホール (那覇市泉崎)

前売り券 3,000円

当日券 3,500円

■主催：琉球新報社 ■共催：沖縄芸能連盟・組踊上演300周年記念実行委員会 ■特別協賛：医療法人 陽心会

■後援：沖縄県、那覇市、伝統組踊保存会、沖縄テレビ放送、NHK沖縄放送局、ラジオ沖縄

■協賛：大光鉱山／久保田照子チャームスクール／(株)かりゆし／(株)エナジックインターナショナル／ディー・ランド／沖東交通グループ
日本文化学／ほっともっと沖縄地区本部／日本トランスオーシャン航空／沖縄ツーリスト／チャンネル1／やよい軒沖縄地区本部

■お問合せ先：098-865-5255 (琉球新報社読者事業局) 〈プレイガイド〉琉球新報本社・中部支社・北部支社／デパートリウボウ／ファミリーマート／ローソン

プログラム

第一部 琉球舞踊

- | | | | |
|----------------|-----------------|------------|-------------|
| 1、古典若衆踊「若衆特牛節」 | (踊り) 玉城流てだ・いずみ会 | 玉城侑香李 | 又吉聖子 |
| 2、古典女踊「作田」 | (踊り) 安座間本流清風一扇会 | 久手堅一子 | |
| 3、古典女踊「かせかけ」 | (踊り) 貞扇本流貞扇会 | 山内小夜 | 平良芽美 大城一咲 |
| 4、古典二歳踊「高平良万歳」 | (踊り) 啓扇本流船乃会 | 照屋麻美 | 新垣早苗 |
| 5、雑踊「浜千鳥」 | (踊り) 玉城流喜納の会 | 伊波正江 | 西村利江子 中村志津子 |
| | | 関りえ子 | |
| 6、雑踊「鳩間節」 | (踊り) 松含流 | 山城小百合 | 比嘉智香子 仲本ひろみ |
| | | 野原エリサ | 松川好美 |
| 7、古典打組踊「しゅんどう」 | (踊り) 玉城流七扇会 | (美女) 上地美智子 | 伊藝光枝 |
| | | (醜女) 大城ふみ子 | 仲村渠苗子 |

第二部 新作組踊「世謡～蓮糸の縁～」

原案／仲松庸太郎

脚本・演出・振付／宮城能鳳

(演出補佐) 嘉手苺林一 (振付補佐) 東江裕吉・新垣悟

〈あらすじ〉

琉球王朝第一尚氏王朝最後の尚泰久王の子・尚徳王と久高島の大里家の祝女クニチャサとの愛をテーマに描いた作品。尚徳王が久高島へ参詣したのは気分転換を求め傷心をかかえての久高行きだった。その折に巡り合ったクニチャサと恋仲になり、首里城に残された妻子のことも忘れ、三月もの間、国務をはなれてしまう。その間、城内では、御鎖金丸と安里大屋子らの計略による反乱がおきた。白髪の老人・安里大屋子が「ものくいゆすど我が御主、内間金丸ど我が主」と謡い、金丸こそが国の国王にふさわしいと唱え、尚徳王は自身の不在中に王位を退けられてしまい絶望する。

尚徳王とクニチャサは首里城に戻ることも出来ず船から身を投げて命を絶ってしまう。二人の愛は命をかけるまでの強い絆でむすばれ……

〈立方〉



クニチャサ

宮城能鳳 (人間国宝)



尚徳王

玉城盛義



安里大屋子

嘉手苺林一



金丸 (のちの国王)

東江裕吉



王妃

新垣 悟



村掟

石川直也

尚徳王の供

田口博章 佐喜真一輝 上原崇弘
知花令磨

金丸の供
侍女
村人

玉城 匠 翁長俊輔 知花令磨
田口博章 山城峻称
伊藝武士 伊波心

美 童

比嘉侑子 諸見里春代 宮城能乃
古謝徳子

きゃうちゃこ持
星の精

山城 誠
比嘉侑子 古謝徳子 新里春加
山城亮子 謝名堂奈津 根神千代美
平安座彩 伊集春華

〈地謡 (第一部・第二部共通)〉



(歌三線) 城間徳太郎
(地謡監修・人間国宝)



上間克美
(地謡指導)



喜瀬 学



新垣俊道



仲村渠達也



(箏) 安里ヒロ子



宮城秀子



(笛) 知念久光



(胡弓) 又吉恭平



(太鼓) 比嘉 聡
(人間国宝)